

試験報告書

発行年月日 2000年00月00日

報告書番号 N1100

注文書番号 00

株式会社000 殿

件名:放射性物質の核種分析



試料名			単位	測定結果
試料採取月日				
1	放射性セシウム	I-131	Bq/kg	検出せず
2		Cs-134		検出せず
3		Cs-137		検出せず
4		合計値		—

※測定結果の「検出せず」は測定定量下限値未満を示します。

※放射性ヨウ素は、原発事故などの発生による汚染があった場合に検出される場合があります。

測定方法 食品中の放射性セシウム検査方法(平成24年3月15日厚生労働省食安発0315第5号)
食品中の放射性セシウムスクリーニング法(平成24年3月1日厚生労働省)

測定機器 NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ
(EMFジャパン(株)製EMF211型γ線スペクトロメータ)

定量下限値 20Bq/kg

参考値 食品中の放射性セシウム基準値

食品区分	基準値	単位
一般食品	100	Bq/Kg
飲料水	10	
牛乳	50	
乳児用食品	50	

放射性物質の半減期

項目	半減期
放射性ヨウ素	I-131 8日
放射性セシウム	Cs-134 約2年
	Cs-137 約30年

試験結果は、供与された試料についての結果であり、当該試料の母集団を保証もしくは認証するものではありません。本報告書を他に掲載するときは弊社の承認を受けてください。

分析は協力会社にて実施しています。